

先週の金曜日の5時間目、教育委員会からお客さまが来て、みんなが授業を受けているところを校長先生と一緒に回って見学をしました。教育委員会の人は大阪市内の学校をたくさん回られています。たくさんの学校を見ているけれども、北巽小学校は特に、どの学年もみんなが楽しそうに授業を受けていますね。とても良い雰囲気です。授業を受けていますね。特に6年生は表情が豊かでとても良いですね。という褒めの言葉をいただきました。先生たちそれを聞いて、とてもうれしかったです。これからも今まで通り、授業をがんばって受けていきたいと思います。

さて、東京パラリンピックが昨日閉会になりました。日本の選手はテニスやバドミントン、陸上、自転車、ボッチャなどで13個の金メダルをとりました。その他にも車いすバスケットボールやラグビーなどでメダルを獲得し、競技のレベルが前回と比べて、とても上がりました。先生もボッチャの試合を見ましたが、脳性まひの選手がとても正確にボールをコントロールする姿を見て、とても驚きました。ボッチャは誰でもできるスポーツなので、また機会があればみんなでやってみたいですね。

いろいろな競技を見て感動しましたが、先生がその中でも良かつ

たなと思ったのは、競泳男子バタフライ 1 0 0 m の木村選手、富田選手が 1 位、2 位になった競技でした。木村選手はレース後「この日のために頑張ってきた『この日』って本当に来るんだなと思って」と言っています。1 年延期になったパラリンピックが開催されるかどうか分からない中でも、諦めずに自分ができることに取り組んできたからこそだったと言えます。2 位だった富田選手は「(自分は) 選手として失格かもしれない。だけど、彼が金メダルを取ったことはうれしい。すごさも努力もそばでずっと見てきたから」と言っています。自分が負けて悔しい気持ちもある中で、ライバルの選手に対して、相手のことを認めて尊重するこのような発言ができることがとても素敵だなと思いました。先生はこの様子を見てみんなのことを思い浮かべました。

北巽小学校のみんなも友だちに対して、優しいな、大切にしているなと感じる場面が良くあります。これからもそのようなみんなの良い面は持ち続けられるようにしてくださいね。